

3

ハードウェアについて

本章では、各ハードウェアについて説明します。
注意事項を守り、正しく取り扱ってください。

1	周辺機器の取り付けについて	94
2	セレクトابل機器の差し替え	95
3	CD-ROM 装置	101
4	フロッピーディスク装置	105
5	ハードディスク装置	110
6	PC カード	111
7	増設メモリ	116
8	LAN の接続	120
9	USB 機器の接続	129
10	マイク（別売り）の接続	130
11	ヘッドホン（別売り）の接続	131

1 周辺機器の取り付けについて

本章で説明していない周辺機器については、それぞれの周辺機器に付属の説明書をご覧ください。

取り付け / 取りはずしの方法は周辺機器によって違います。各項を読んでから作業をしてください。



注意

- ・Windows 95 / NTを使用している場合は、付属のキーボード、マウス以外のUSB機器は、使用できません。
- ・パソコンが動作中に着脱することが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。



お願い

- ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ・湿度やホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- ・静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
- ・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- ・本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。

● パソコン本体へのケーブルの接続

次の点に注意して、接続してください。

コネクタの上下をあわせる



お願い

- ・ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

周辺機器を使用するときは、このほかに作業が必要なことがあります。また、その必要な作業は、使用するシステムで異なることがあります。それぞれの周辺機器に付属の説明書をご覧ください。

● プリンタの接続

Windows 98 / 2000 でパソコン本体にプリンタを接続する場合は、USB に対応したプリンタをUSB コネクタに接続してください。

Windows 95 / NT で使用する場合およびUSB に対応していないプリンタを使用する場合は、LAN 回線を利用してください。

2 セレクタブル機器の差し替え

セレクタブルベイには、次にあげる機器を内蔵することができます。

- ・CD-ROM 装置
- ・フロッピーディスク装置
- ・セカンドハードディスク装置（別売り）

ご購入のモデルにより、CD-ROM 装置またはフロッピーディスク装置が内蔵されている場合があります。

イラストは CD-ROM 装置内蔵モデルです。



お願い

- ・Windows NT 4.0 上でパソコンの電源を入れたままセレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしを行う場合には、「東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0」をインストールする必要があります。本ユーティリティをインストールしないで、パソコンの電源を入れたままセレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしを行うと、データが失われることがあります。

● セレクタブル機器の差し替え

「東芝セレクタブルベイ・ユーティリティ」や「東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0」を利用すると、電源を入れたままセレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしをすることができます。

Windows 2000 の場合、これらのユーティリティはありませんが、電源を入れたままセレクタブル機器の取り付け/取りはずしをすることができます。

☞ 「本節 セレクタブル機器の差し替え (Windows 2000)」

「東芝セレクタブルベイ・ユーティリティ」は、本製品の Windows 98 / 95 モデルには出荷時にインストールされています。アンインストールした場合は、次の手順でセレクタブル機器の取り付け/取りはずしを行なってください。


「東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0」を Windows NT モデルにインストールすると、電源を入れたままセレクタブル機器の取り付け/取りはずしをすることができます。

☞ 「東芝セレクタブルベイ・ユーティリティ」を使った差し替え

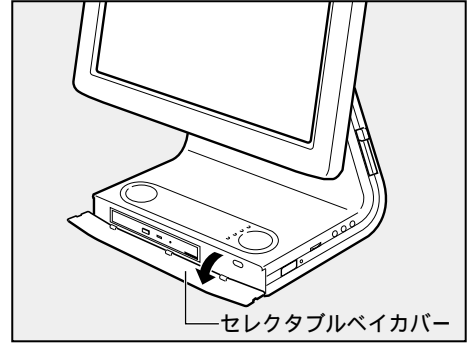
☞ 「本節 東芝セレクタブルベイ・ユーティリティ (Windows 98 / 95)」

☞ 「本節 東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0」

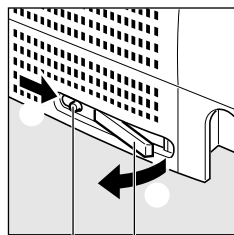
インストールしない場合は次の手順でセレクタブルベイの取り付け/取りはずしを行なってください。

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 パソコン本体の電源を切り、Power  LED が消灯していることを確認する
☞ 電源の切り方について ☞ 「2 章 3 電源を切る」
- 3 パソコン本体から AC アダプタと周辺機器のケーブルをはずす

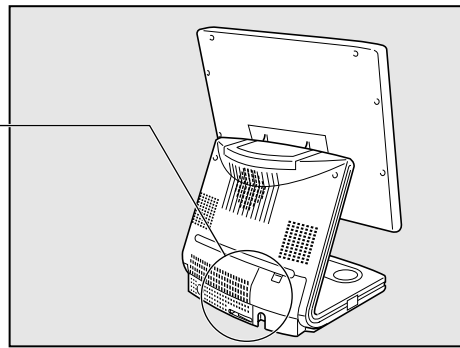
4 セレクタブルベイカバーを開く



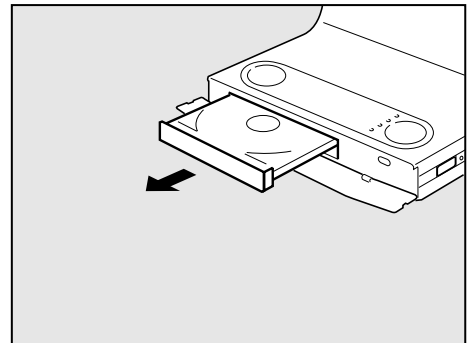
5 本体背面のセレクタブルベイロックをロック解除し、セレクタブルベイ取り出しレバーを引き出す



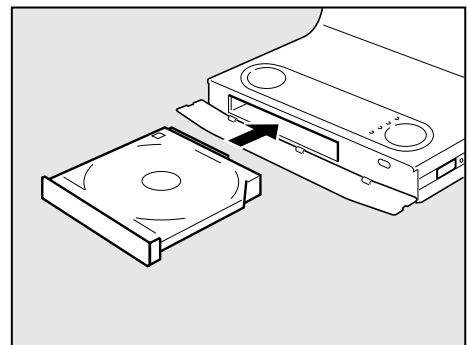
—セレクタブルベイ
取り出しレバー
—セレクタブルベイロック



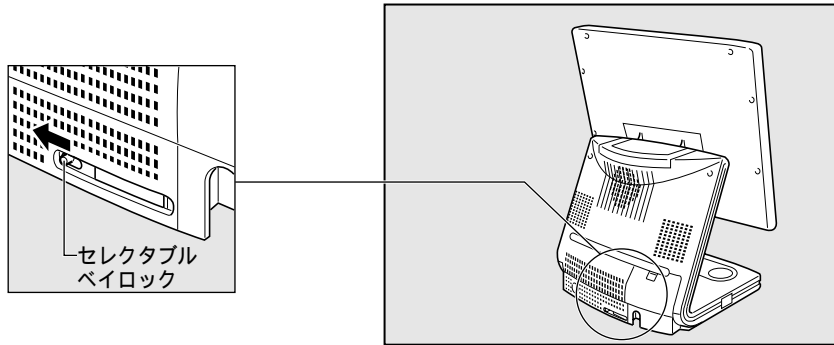
6 装着されていたセレクタブル機器をしっかりとつかんで引き出す
装置は水平に引き出してください。



7 取り付けるセレクタブル機器を奥まで差し込む



8 セレクタブルベイロックをロック位置にする



9 セレクタブルベイカバーを閉じる

● 東芝セレクタブルベイ・ユーティリティ (Windows 98 / 95)

パソコン本体の電源を入れたまま、セレクタブル機器の取り付け/取りはずしを可能にするユーティリティです。工場出荷時にインストールされています。



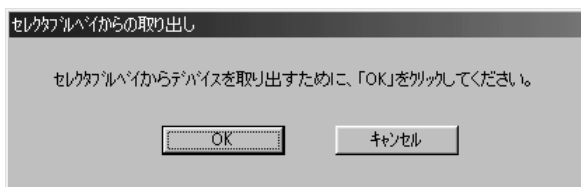
注意 ・省電力モード中には、セレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしを行わないでください。パソコン本体、および機器がこわれるおそれがあります。



・セレクタブルベイに装着している機器が最優先起動装置に設定されている場合、その装置を取りはずそうとすると、警告のウィンドウが表示されます。

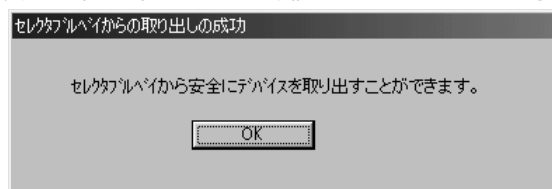
東芝セレクタブルベイ・ユーティリティを使用してセレクタブル機器の取り付け/取りはずしをするには、次の手順で操作します。

- 1 アプリケーションを終了する
- 2 HDD LED、Selectable-Bay LED、フロッピー - ディスク装置のLEDが消灯していることを確認する
- 3 セレクタブルベイロックを解除する
確認のメッセージが表示されます。

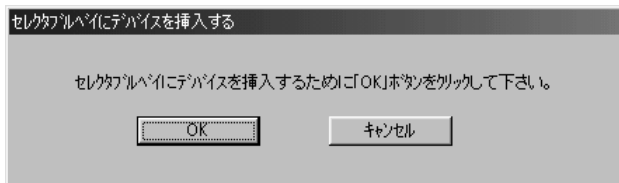


4 [OK] ボタンを押す

セレクタブル機器が安全に取り出せることを確認するメッセージが表示されます。



- 5 [OK] ボタンを押す
- 6 セレクタブル機器を取り出す
- 7 取り付けるセレクタブル機器を奥まで差し込む
- 8 セレクタブルベイロックをロック位置にする
確認のメッセージが画面に表示されます。



- 9 [OK] ボタンを押す
セレクタブル機器の差し替えが終了しました。



メモ



・東芝セレクタブルベイ・ユーティリティは手順2の代わりに[コントロールパネル]の[東芝セレクタブルベイのプロパティ]の[状態]タブで[取り付け]をクリックする方法や、タスクバーにある[東芝セレクタブルベイ]アイコンをクリックし、[セレクタブルベイからデバイスを取り出す]をクリックする方法でも使用できます。

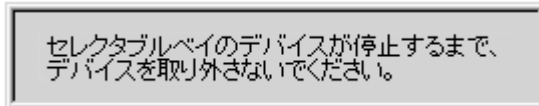
● セレクタブル機器の差し替え (Windows 2000)

パソコン本体の電源を入れたまま、セレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしをするには、次の手順で操作します。

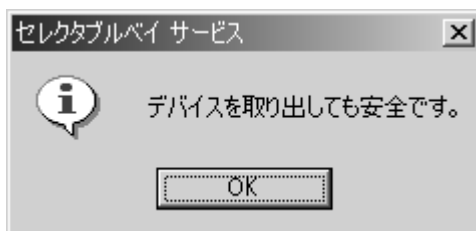


注意 ・省電力モード中には、セレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしを行わないでください。パソコン本体、および機器がこわれるおそれがあります。

- 1 アプリケーションを終了する
- 2 HDD  LED、Selectable-Bay  LED、フロッピー - ディスク装置のLEDが消灯していることを確認する
- 3 セレクタブルベイロックを解除する
処理中のメッセージが表示されます。



しばらくすると、セレクタブル機器が安全に取り出せることを知らせるメッセージに変わります。



4 [OK] ボタンを押す

5 セレクタブル機器を取り出す

6 取り付けるセレクタブル機器を奥まで差し込む

7 セレクタブルベイロックをロック位置にする

[マイコンピュータ]などで、取り付けたセレクタブル機器のアイコンが表示されていることを確認してください。アイコンが表示されるとセレクタブル機器が使用できるようになります。



メモ

- ・ハードディスク装置、またはCD-ROM装置は、取り付けるときアイコンが表示されます。フロッピーディスク装置は、接続していなくてもアイコンは表示されたままです。
- ・ハードディスク装置、またはCD-ROM装置の取りはずしは、タスクバーにある[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを右クリックし、表示されるメニューの[ハードウェアを取り外すかまたは取り出す]ボタンをクリックする方法でも行えます。

● 東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0

このユーティリティをインストールすると、Windows NT を使用している場合に、パソコン本体の電源を入れたままでのセレクタブル機器の取り付け/取りはずしが可能になります。インストール/アンインストールの方法については、アプリケーションCDのWinNT4¥Softwares¥Tbsrvにあるreadme.txtを参照してください。



注意 ・省電力モード中には、セレクタブルベイ機器の取り付け/取りはずしを行わないでください。パソコン本体、および機器がこわれるおそれがあります。

東芝セレクタブルベイサービス for Windows NT 4.0 を使用してセレクタブル機器の取り付け/取りはずしをするには、次の手順で操作します。

1 アプリケーションを終了する

2 HDD  LED、Selectable-Bay  LED、フロッピー - ディスク装置のLEDが消灯していることを確認する

3 セレクタブルベイロックを解除する

確認のメッセージが表示されます。



メモ

- ・取り付けられていたセレクタブル機器がハードディスク装置、あるいは、CD-ROM装置のとき、確認のメッセージが表示されます。それ以外のセレクタブル機器の場合は、手順6の操作に進んでください。

4 [OK] ボタンを押す

セレクタブル機器が安全に取り出せることを確認するメッセージが表示されます。

5 [OK] ボタンを押す

6 セレクタブル機器を取り出す

7 取り付けるセレクタブル機器を奥まで差し込む

8 セレクタブルベイロックをロック位置にする

[マイコンピュータ]などで、取り付けたセレクタブル機器のアイコンが表示されていることを確認してください。アイコンが表示されるとセレクタブル機器が使用できるようになります。



メモ

- ・ハードディスク装置、またはCD-ROM装置は、取り付けたときアイコンが表示されます。フロッピーディスク装置は、接続していなくてもアイコンは表示されたままです。
- ・セレクタブル機器の取りはずしは、タスクバーにある[東芝セレクタブルベイサービス]アイコンをクリックし、[セレクタブルベイからデバイスを取り出す]をクリックする方法でも使用できます。

3 CD-ROM 装置

1 CD

使用できる CD は、次の種類です（読み込みのみ可能です）。

音楽用 CD

8cm、12cm の音楽用 CD が聴けます。

フォト CD

CD-ROM

使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものを使用できます。

CD エクストラ

CD-R

CD-RW

☞ CD-ROM の使用について ☞ 「日常の取り扱い - コンパクトディスク」



メモ

・CD-R、CD-RW は、メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

2 CD のセットと取り出し

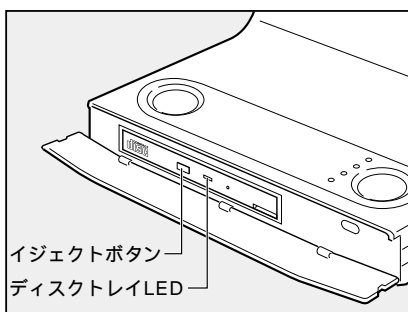
ご購入のモデルにより、セレクトラブルベイに CD-ROM 装置が内蔵されている場合があります。ここではセレクトラブルベイに内蔵の CD-ROM 装置での手順を説明します。



注意

・ディスクトレイ内のレンズに触れないでください。CD-ROM 装置の故障の原因になります。

・Selectable-Bay LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、CD-ROM 装置が動作しています。このときはイジェクトボタンを押さないでください。CD または CD-ROM 装置の故障の原因となります。



メモ

・CD は、電源が入り、Selectable-Bay LED が消灯しているときにセット / 取り出しができます。

・次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

電源を入れた直後

リセットした直後

ディスクトレイを閉じた直後

これらの場合には、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

・Windows が起動したとき、Selectable-Bay LED が周期的に薄く点灯します。これは CD の自動挿入を検出しているためで、故障ではありません。

● CD のセット

CD-ROM 装置へ CD をセットするには、次のように行います。

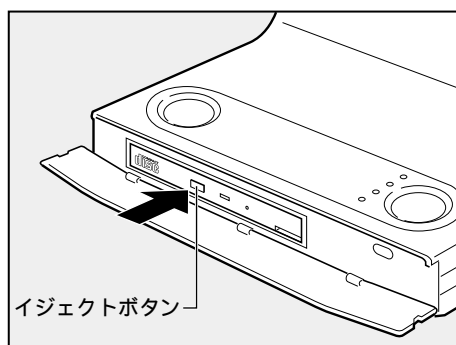
1 パソコン本体の電源を入れる

電源が入ってないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

2 セレクタブルベイカバーを開く

3 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

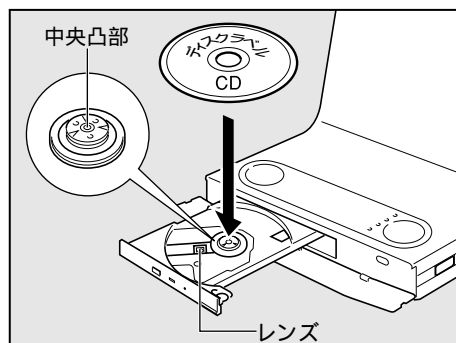


4 ディスクトレイを引き出す

CD をのせる面がすべて出るまで、引き出します。

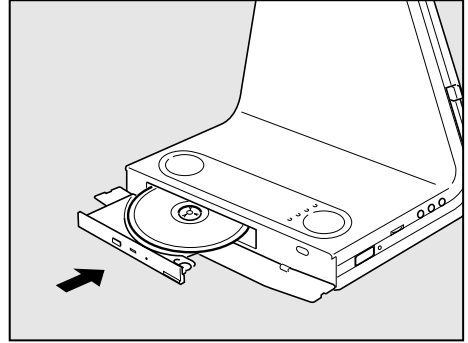
5 文字が書いてある面を上にして、CD の穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



- 注意**
- ・ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM 装置の故障の原因になります。
 - ・CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
 - ・CD を正しくディスクトレイにセットしないと、CD を傷つけることがあります。

- 6** 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



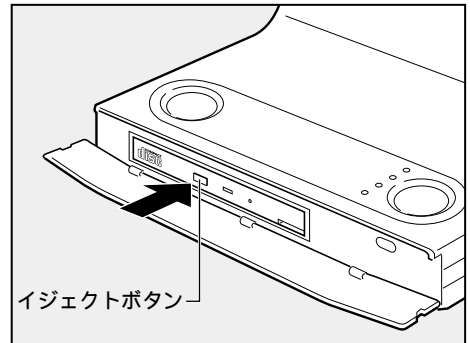
- 7** セレクタブルベイカバーを閉じる

● CD の取り出し

CD-ROM 装置から CD を取り出すには次のように行います。

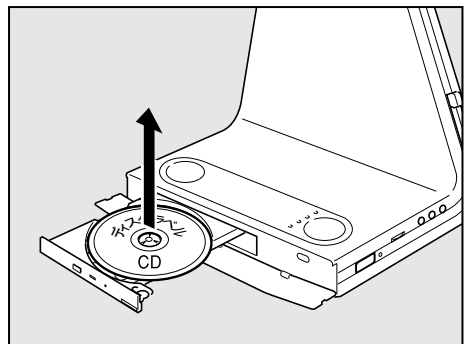
! 注意 ・Selectable-Bay LED が点灯しているときは、CD を取り出さないでください。
CD のデータや CD-ROM 装置がこわれるおそれがあります。

- 1** パソコン本体の電源を入れる
- 2** セレクタブルベイカバーを開く
- 3** イジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し出てきます。

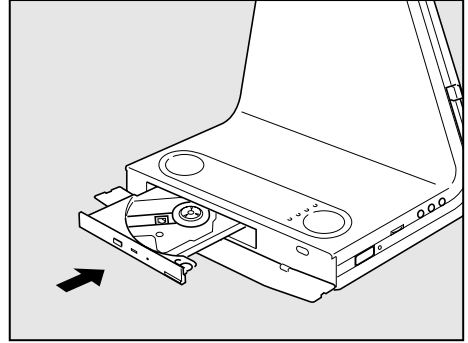


- 4** ディスクトレイを引き出す
CD をのせる面がすべて出るまで、引き出します。

- 5** CD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す
ディスクトレイから CD を取り出します。
CD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。



6 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

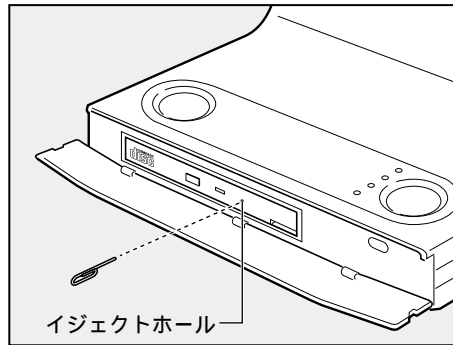


7 セレクタブルベイカバーを閉じる



メモ

- ・電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM 装置のイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



- 注意** ・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD のデータや CD-ROM 装置がこわれるおそれがあります。

4

フロッピーディスク装置

次のフロッピーディスク装置が使用できます。

- ・FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置 (PA2669UJ)
- ・USB コネクタ用フロッピーディスク装置 (PA2680U)
- ・セクタブルベイ用フロッピーディスク装置 (PVP131JA)

ご購入のモデルにより、標準でセクタブルベイ用フロッピーディスク装置が内蔵されている場合があります。

☞ 「本章 2 セクタブル機器の差し替え」

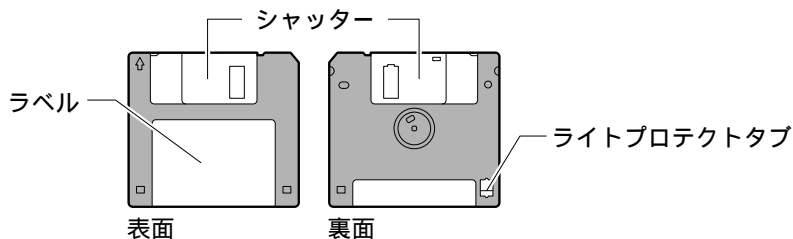


メモ

- ・USB コネクタ用フロッピーディスク装置は、Windows 95 / NT モデルでは使用できません。
- ・セクタブルベイ用フロッピーディスク装置とFDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置は、同時使用はできません。

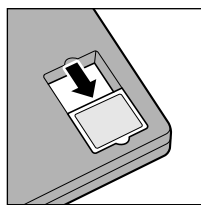
1 フロッピーディスク

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



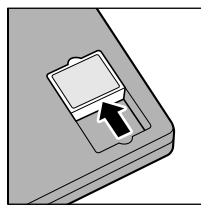
ライトプロテクトタブの状態、次のようになります。

● ライトプロテクトタブの状態



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。
この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。
データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。
この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

☞ フロッピーディスクの使用について ☞ 「日常の取り扱い-フロッピーディスク」

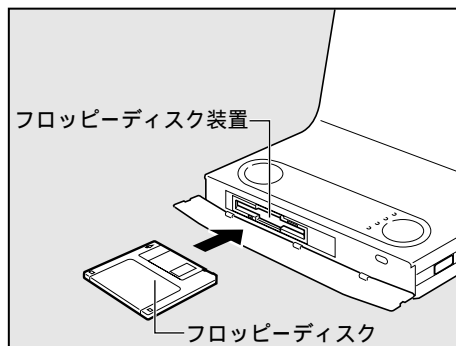
② フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

イラストはセレクトابلベイ用フロッピーディスク装置です。

● フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きに合わせて挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。



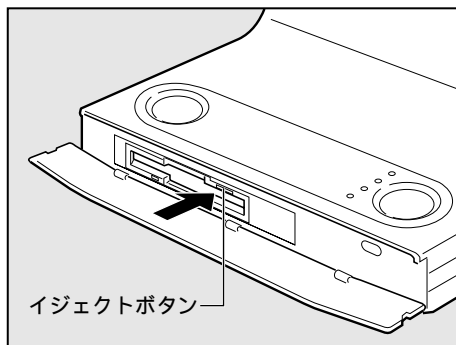
● フロッピーディスクの取り出し



お願い

・Selectable-Bay LED やフロッピーディスク装置のLED が点灯している場合は、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



③ フロッピーディスクのフォーマット

買ってきたばかりの新品のフロッピーディスクは、箱から出してそのまますぐ使うことはできません。使用するシステムにあわせて「フォーマット」という作業を行う必要があります。

フォーマットを行うと、フォーマットを行なったシステムにあわせて、データの記憶や読み出しができるようにトラック番号やヘッド番号などの基本情報が書き込まれます。新品のフロッピーディスクは、どんなシステムに使われるかわからないためフォーマットを行わずに出荷されています。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステムで使われていたフロッピーディスクも、もう1度本製品でフォーマットすることにより、本製品で使用することができます。



お願い





- ・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

● フロッピーディスクのフォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳しくは、『Windows のヘルプ』をご覧ください。



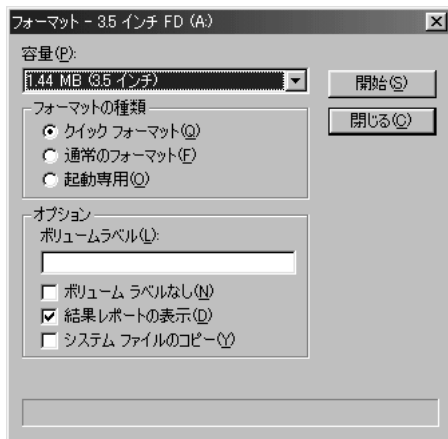
メモ

- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HD フロッピーディスクを2DD タイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・  フォーマット形式は、2DD の場合は720KB、2HD の場合は1.44MB のみになります
- ・  フォーマット形式は、2DD の場合は720KB、2HD の場合は1.2MB または1.44MB になります

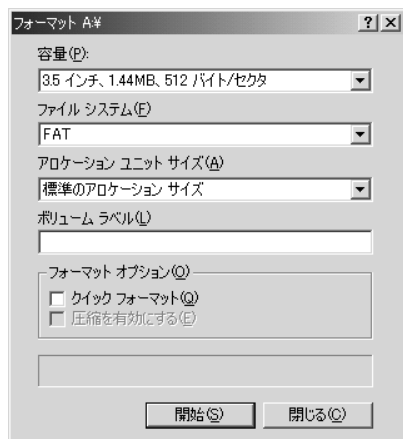
- 1 フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3 [3.5 インチ FD (A:)] のアイコンをクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] のアイコンが選択され、アイコンの色が反転します。

4 [ファイル(F)]メニューの[フォーマット(M)]([フォーマット(A)])を選択する

フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



( )



( )

5 フォーマット方法を選択し、[開始(S)]ボタンをクリックする



フォーマットが開始されます。



メモ

・初めてフォーマットする場合、かなり時間がかかることがあります。

6 [フォーマット結果]の内容を確認し、[閉じる]ボタンをクリックする

  [OK]ボタンをクリックし、[閉じる]ボタンをクリックすることで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。



フォーマットを終了する場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

4 FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置(別売り)

別売りのFDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置(PA2669UJ)を接続して使用できます。




お願い

- ・   USB 機器が動作していないときに使用してください(同梱されているキーボード、マウスは除く)。
- ・ セレクタブルベイ用フロッピーディスク装置との同時使用はできません。

1 フロッピーディスク装置ケーブルのプラグを、本体左側面にあるFDD 接続コネクタに接続する


5 USB コネクタ用フロッピーディスク装置（別売り）

 別売りの USB コネクタ用フロッピーディスク装置（PA2680U）を接続して使用できます。



メモ

・  使用できません。


- 1 本体背面のコネクタカバーを開く
- 2 フロッピーディスク装置ケーブルのプラグを、本体の USB コネクタに接続する
プラグに刻印されている USB アイコン  が手前にくる状態で差し込んでください。


6 セレクタブルベイ用フロッピーディスク装置

セレクタブルベイ用フロッピーディスク装置（PVP131JA）を内蔵して使用できます。ご購入のモデルにより、標準でセレクタブルベイに内蔵されている場合があります。



お願い

- ・  USB 機器が動作していないときに使用してください（同梱されているキーボード、マウスは除く）。
- ・ 別売りの FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置（PA2669UJ）との同時使用はできません。

 「本章 2 セレクタブル機器の差し替え」

5 ハードディスク装置

ハードディスク装置には、標準で内蔵されているメインハードディスクのほかに、セレクトダブルベイに取り付けるセカンドハードディスク装置（別売り）があります。

- ☞ 「本章 2 セレクトダブル機器の差し替え」
- ☞ 『セカンドハードディスク装置に付属の説明書』

6 PC カード

本製品には、PC カード（別売り）を取り付けることができます。



注意 ・ホットインサクションに対応していないPCカードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け/取りはずしを行なってください。電源を入れたまま作業を行うと、PCカードが故障するおそれがあります。



メモ

- ・市販されているPCカードには、自己発熱の大きいものがあります。このようなカードを長時間動作させていると、自己発熱の影響により、カードの動作が不安定になる場合があります。また、他のカードといっしょに使用すると、熱の影響により、他のカードの動作も不安定になる場合があります。
- ・ホットインサクション
パソコン本体の電源を入れたままで、PCカードの取り付け/取りはずしをすることをいいます。ただし、PCカードによってはこの機能に対応していないものがあります。
- ・Windows NTモデルをお使いの場合、「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」がインストールされていますので、ホットインサクションやプラグアンドプレイを行うことができます。ただし、PCカードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。
また、「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」をアンインストールした場合やこのユーティリティに対応していないPCカードの場合、ホットインサクションやプラグアンドプレイを行うことはできません。
☞ 詳細について ☞ [スタート]-[プログラム]-[CardWizard for Windows NT]-
[最初に必ずお読みください]

使用できるPCカードのタイプは、取り付けるスロットによって異なります。

使用スロット	使用可能タイプ
2 (奥側)	TYPE /
1 (手前側)	TYPE / /

PCカードの例を次にあげます。

モデムカード
SCSIアダプタ
フラッシュメモリ
CardBus対応カード



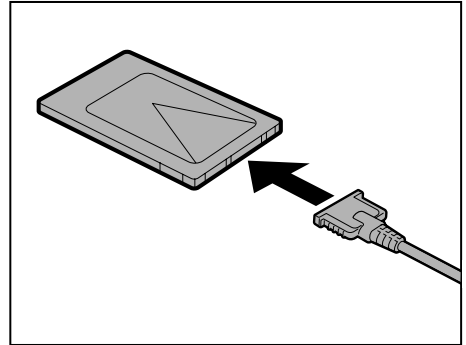
メモ

- ・スロット1にTYPE のPCカードを取り付けた場合は、スロット2にPCカードを取り付けることはできません。

☞ 『PCカードに付属の説明書』

● 取り付け

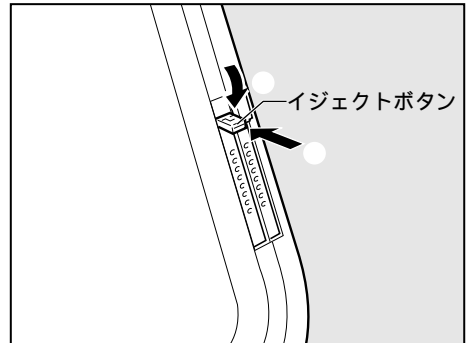
- 1 PCカードにケーブルを付ける
モデムカードなど、ケーブルを接続することが必要なカードの場合は、この作業を行なってください。




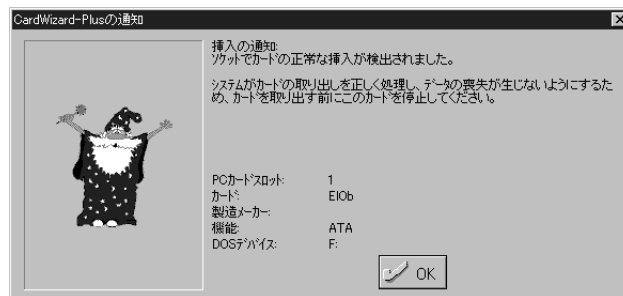
お願い

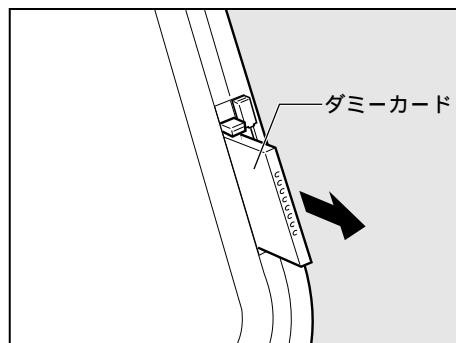
- ・ケーブルを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

- 2 カードを取り付けるスロットのイジェクトボタンを起こし、押す
ダミーカードが少し出てきます。

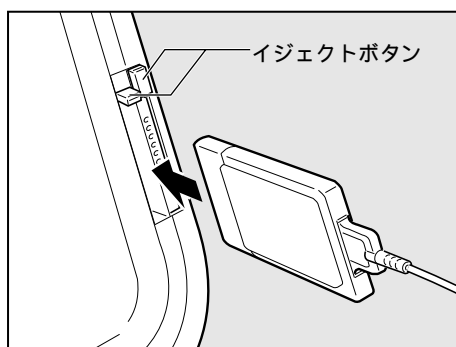


 SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT からカードが挿入されたことを知らせるメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。



3 ダミーカードを引き抜く**4** PCカードの上面（シールが貼られている面）を背面側に向け、PCカードを挿入する

カードを確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押ししてください。

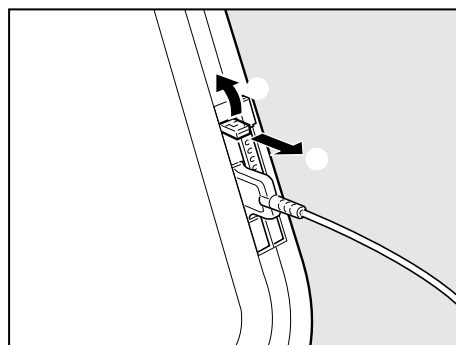


カードが十分に押し込まれたら、イジェクトボタンが出てきます。

手前のイジェクトボタンは、PCカードスロット1用です。奥は、PCカードスロット2用です。

5 イジェクトボタンを手前に引き出し、上側に倒す

PCカードが固定されます。



● 取りはずし



注意

・PCカードがホットインサーションに対応していることを確認のうえ、PCカードの使用終了を必ず行なってください。使用終了せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。



お願い

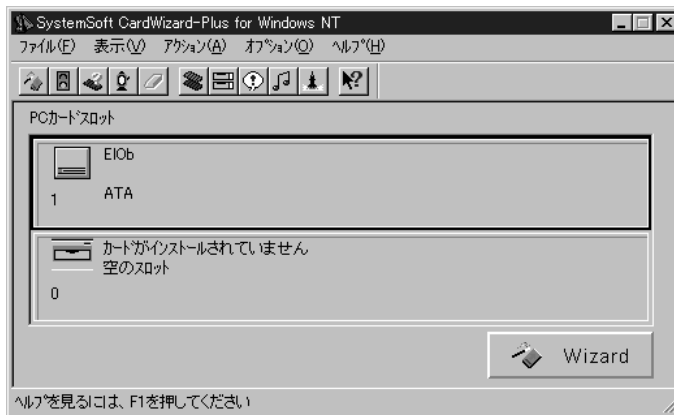
・PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してから取りはずしを行なってください。

1 PCカードの使用を終了する

98 **95** [コントロールパネル]の[PCカード(PCMCIA)のプロパティ]画面で終了するPCカードを選び、[停止]ボタンをクリックします。

2000 [コントロールパネル]の[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックし、表示された画面に従って操作します。または、タスクバーにある[ハードウェアを取り外しまたは取り出し]アイコンを右クリックし、表示されるメニューの[ハードウェアを取り外すかまたは取り出す]ボタンをクリックします。

NT タスクバーにある[CardWizard]アイコンをダブルクリックし、表示される画面で終了するPCカードスロットを選び、右クリックして表示されるメニューの[停止]ボタンをクリックします。PCカードスロットの表示が変わり、取りはずせることを知らせる音が鳴ります。

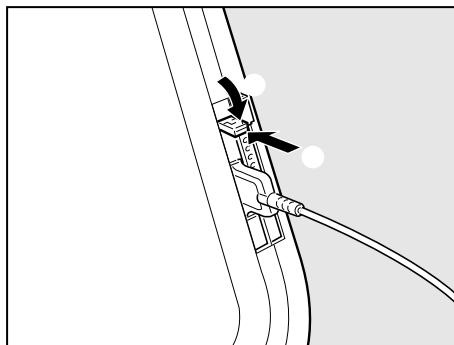


(表示例)

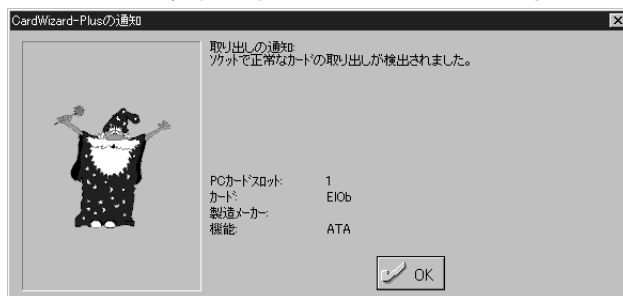


(表示例)

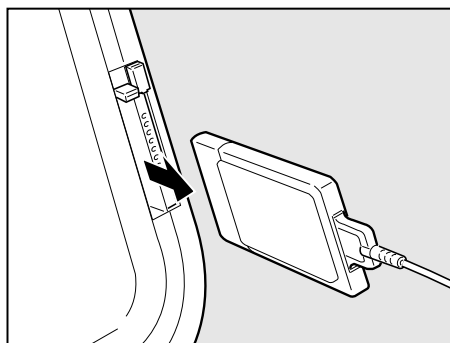
- 2** 取りはずしたいカードのイジェクトボタンを引き起こし、押す
カードが少し出てきます。



NT 「CardWizard-Plus」より、取り出しの通知メッセージが表示されます。



- 3** カードをしっかりとつかみ、引き抜く



! **注意** ・PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。

7 増設メモリ

本製品は、増設メモリ（別売り）を取り付けることによって、メモリを増設することができます。

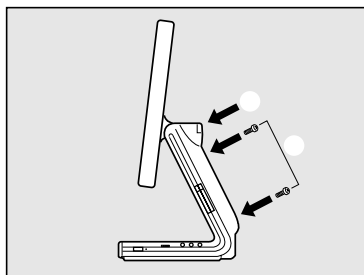


警告 ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一触ると危険です。



注意 ・増設メモリの取り付け / 取りはずしを行う場合は、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜いてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け / 取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。

- ・増設メモリの取り付け / 取りはずしをする前に、PCカードを本体から必ず取りはずしてください。PCカードあるいは、本体カバーを破損するおそれがあります。
- ・本体カバーを取り付けるときは、本体カバー下側およびツメの位置を合わせた後、本体カバーの上部を押し込んでください。
- ・本体カバーをネジで固定する場合は、次の方向と角度で行ってください。



- ・電源を切った直後には、増設メモリの取り付け / 取りはずしを行わないでください。増設メモリスロット周辺が熱くなっているため、やけどのおそれがあります。
- ・増設メモリの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後 30 分以上たってから、行うことをおすすめします。
- ・増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。

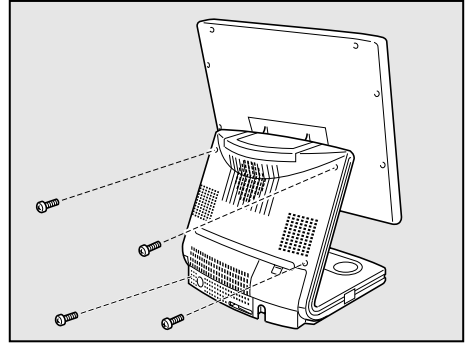


お願い

- ・増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。
- ・増設メモリは本製品で動作が保証されているものをご使用ください。それ以外のメモリを増設するとシステムが起動しなくなったり、動作が不安定になります。

● 取り付け

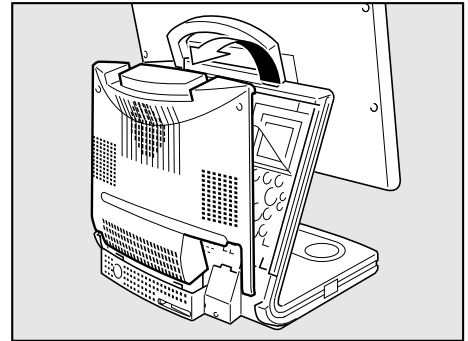
- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 パソコン本体背面のネジ 4 本をはずす



お願い

・ネジをはずす際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。

- 4 本体カバーをはずす




警告

・ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

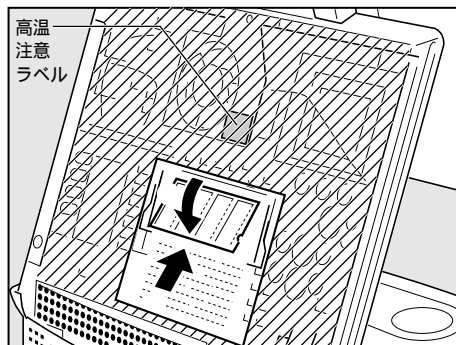


注意

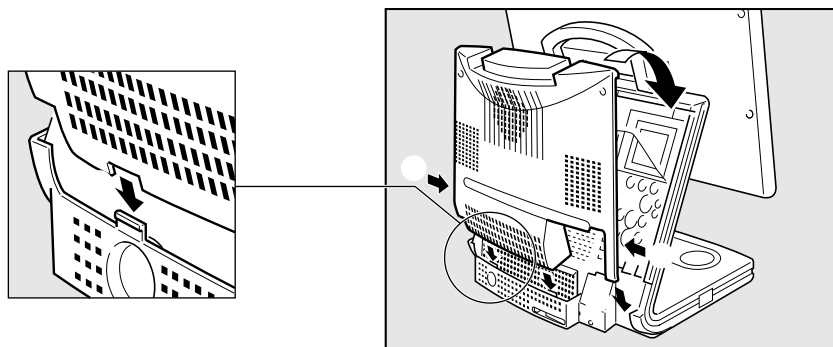
・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
 ・次の図の  部分には触れないでください。熱くなっている場合があるためやけどのおそれがあります。特に、高温注意ラベルにあるように、CPUに触れないでください。

5 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し、固定するまで増設メモリを倒す

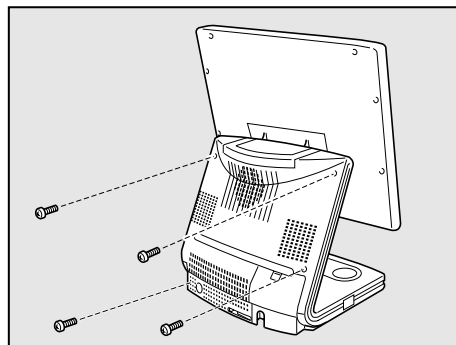
増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。



6 本体カバー下側のツメ3カ所が内部に入るように合わせ、本体カバーの左右をおさえながら、本体カバーを取り付ける



7 本体カバーを手順3ではずしたネジ4本で固定する



パソコン本体の電源を入れたとき、合計のメモリ量が自動的に認識されます。合計のメモリ量が正しいかどうかをPC診断ツール(**98** **95**)、HWセットアップ(**2000** **NT**)などで確認してください。

● 取りはずし

- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 パソコン本体背面のネジ 4 本をはずす



お願い


・ネジをはずす際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。

- 4 本体カバーをはずす



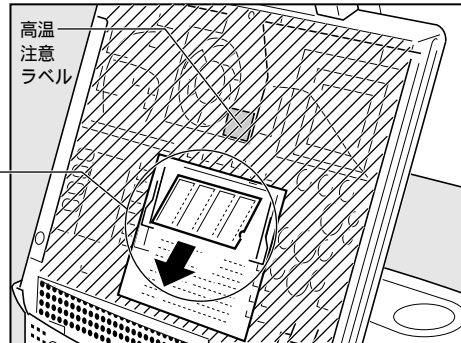
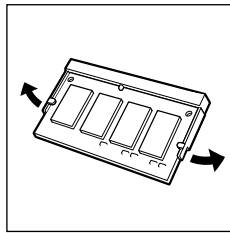
警告 ・ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



注意 ・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
・次の図の  部分には触れないでください。熱くなっている場合があるためやけどのおそれがあります。特に、高温注意ラベルにあるように、CPU に触れないでください。

- 5 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き、増設メモリをパソコン本体から取りはずす

斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。



- 6 本体カバー下側のツメ 3 カ所が内部に入るように合わせ、本体カバーの左右をおさえながら本体カバーを取り付ける

- 7 本体カバーを手順 3 ではずしたネジ 4 本で固定する

8 LAN の接続

本装置には、Fast Ethernet LAN (100BASE-TX)、Ethernet LAN (10BASE-T)に対応したLAN インタフェースが実装されています。ここでは、LAN ケーブルの接続、LAN インタフェースをご使用になる際の注意事項および技術的な内容を説明します。

1 適正なケーブルの確認

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格 (100M ビット/秒) でご使用になるときは、必ずカテゴリ 5 (CAT5) のケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 のケーブルは使用できません。

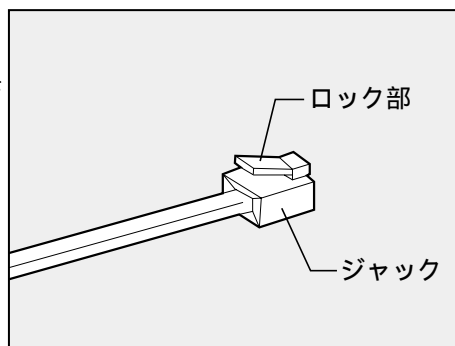
10BASE-T 規格 (10M ビット/秒) でご使用になるときは、カテゴリ 3 または 5 のケーブルが使用できます。

2 LAN ケーブルの接続

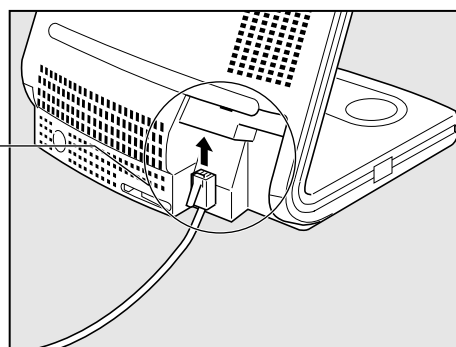
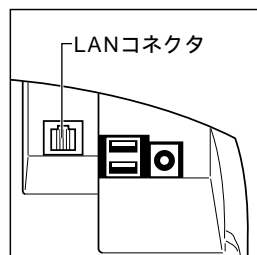


お願い

・LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、ジャックの部分を持って行なってください。また、はずすときは、ジャックのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。



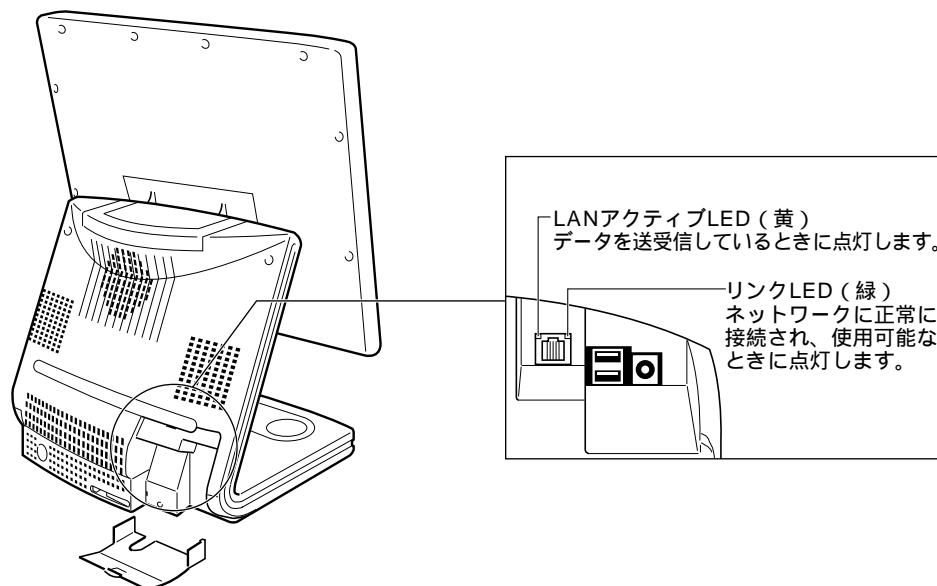
- 1 「本章 1 周辺機器の取り付けについて」での事前の注意事項を確認する
- 2 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る
- 3 パソコン本体背面のコネクタカバーを取りはずす
- 4 パソコン本体の電源コネクタから AC アダプタを抜く
- 5 LAN ケーブルのジャックをパソコン本体背面の LAN コネクタに差し込む
パチンと音がするまで差し込んでください。



- 6 LANケーブルのもう一方のジャックをHUB（ハブ）のコネクタに差し込む
HUB（ハブ）の接続先やネットワークの設定は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 7 ACアダプタをパソコン本体の電源コネクタに接続する
- 8 LANケーブルをコネクタカバーの穴にとおし、コネクタカバーを取り付ける

3 LAN コネクタに関するインジケータ

LAN コネクタの両脇には、LAN インタフェースの動作状態を示す 2 つの LED があります。



4 テクニカル情報

● Fast Ethernet ケーブル

100BASE-TX

100BASE-TXでは、2組のツイストペア・イーサネット（TPE）ケーブルによる100Mbpsの転送をサポートしており、カテゴリ5（CAT5）のケーブルを使用します。100BASE-TXのセグメント長は、最大100メートルに制限されています。

● Fast Ethernet HUB（ハブ）

さまざまなFast Ethernet仕様をサポートするHUBが次々に発表されています。これらのHUBは大きく分けて、シェアードHUBとスイッチングHUBの2つのタイプがあります。DynaTopシリーズのLANインタフェースでは、どちらのタイプのHUBでも使用できます。

シェアードHUB（ハブ）

シェアードHUBを使用しているネットワーク環境では、全ポートが固定の帯域幅（データ容量）を共有しています。100MbpsのシェアードHUBの場合、ハブ上の全ノードが100Mbpsの帯域幅を共有しなければなりません。ハブに新たなステーションが追加されると、個々のステーションが使用できる有効帯域幅は減少します。シェアードHUBは、全車が1レーンを共有する単一レーンの高速道路にたとえられます。高速道路上に車が増えると、トラフィックは混雑し、各車の移動に要する時間は増大します。

シェアードHUBの場合、全ノードが同一の転送速度（10Mbpsまたは100Mbps）で動作しなければなりません。Fast Ethernet HUBの場合、10BASE-Tリピータの10倍の100Mbpsの帯域幅を提供します。

スイッチングHUB（ハブ）

スイッチングHUBを使用しているネットワーク環境では、各ポートに固定の専用帯域幅が割り当てられます。高速道路の例で言うと、各車が他の車と共有しない独自のレーンを持つことになります。

スイッチングHUBでは、データは送信先ステーションにつながるポートにだけ送信されます。ネットワークの帯域幅は全ステーションに共有されているのではなく、HUBに接続された個々のステーションがそれぞれのネットワークの全帯域幅を使用することができます。このためスイッチングHUBではネットワークで使用できる帯域幅の合計が効果的に増大するので、パフォーマンスが大きく向上します。

スイッチングHUBでは、一部のノードを10Mbpsで使用し、他のノードを100Mbpsで使用できるものもあります。スイッチングHUBは洗練された設計により、このようなパフォーマンス上の利点を持ちますが、1接続あたりの費用は一般にシェアードHUBより高価になります。

5 Windows 98 / 95 のネットワーク設定について

本装置をネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。本装置を接続するネットワークの、ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。購入時は既定値 (Default) が設定されています。既定値のままネットワークに接続すると、ネットワークに障害をもたらす場合があります。また、セットアップが終了し、Windows 98 / 95 の起動時に、ネットワークパスワードを入力する必要がある場合があります。後述の「起動時のパスワードの入力」を参照のうえ、パスワードを入力してください。



注意 ・購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows 98 / 95 のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows 98 / 95 のセットアップを行なってください。



・ネットワーク設定は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

お願い

● ネットワークの設定

画面の表示例は Windows 98 の画面です。Windows 95 の場合は異なります。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定 (S)] - [コントロールパネル (C)] をクリックする
- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ネットワークの設定] タブをクリックし、変更を行う
コンピュータに接続されているネットワークアダプタによって、画面内のアダプタ名は異なります。



(表示例)

ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行なってください。

- ネットワーククライアント ほかのコンピュータに接続する機能です。
プロトコル コンピュータが通信するための言語です。通信する複数のコンピュータどうしは、同じプロトコルを使用する必要があります。
アダプタ コンピュータを物理的に接続するハードウェアデバイスです。
サービス このコンピュータのファイルやプリンタなどのリソースを、ほかのコンピュータから使えるようにします。

4 [識別情報] (Windows 95 の場合は [ユーザー情報]) タブをクリックし、コンピュータ名、ワークグループ名をネットワーク管理者の指示に従い、設定する

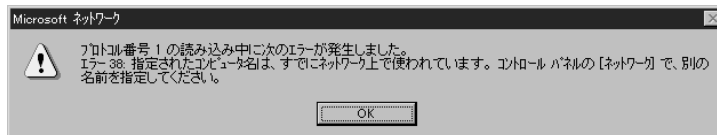


(表示例)



注意

- ・コンピュータ名とワークグループは必ず既定値(Default、Default_Wg)の状態から変更してください。既定値のままのコンピュータを複数台ネットワークに接続しますと、コンピュータ名が重複し、次のエラーメッセージが表示されますので、必ず重複しないコンピュータ名を付けてください。



- 5 [アクセスの制御] (Windows 95 の場合は [アクセス権の管理]) タブをクリックし、変更を行う

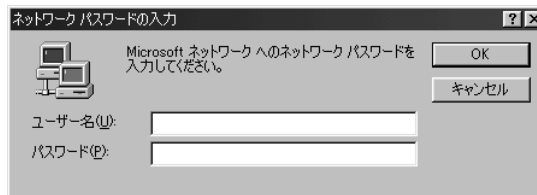


ネットワーク管理者の指示に従い、共有リソースへのアクセス権の管理方法を設定します。

- 6 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックし、パソコン本体を再起動する

● 起動時のパスワードの入力

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ユーザー名と、パスワードを入力する
ここで表示されるダイアログボックスは、ネットワークの設定内容によって異なります (ネットワーククライアントの種類、ドメインサーバにログインするかどうかなど)。ここでは、次のダイアログボックスを例にあげていますが、他のダイアログボックスの場合もネットワーク管理者の指示に従い、入力してください。



・パスワードは、忘れないようにメモすることをおすすめします。

メモ

6 Windows 2000 のネットワーク設定について

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。



注意 ・ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows のセットアップを行なってください。



・ネットワーク設定やコンピュータ識別は、必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。

お願い

● ネットワークの設定

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンにマウスのポインタを合わせて右クリックする
- 4 プロパティを選択する
- 5 ネットワーク接続の設定を行う
セットアップ時に設定した構成になっています。
本製品の標準設定の場合、次のようになっています。

アダプタ : 2520 モデルの場合 Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)
2010 モデルの場合 Intel 21143 Based PCI Fast Ethernet Adapter
クライアント : Microsoft ネットワーク用クライアント
サービス : Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル : TCP/IP (自動取得)

● ネットワーク上でのコンピュータ識別

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ネットワーク ID] タブを選択する
- 4 ネットワーク ID とプロパティの設定を行う
コンピュータ名、ドメイン/ワークグループ名はセットアップ時に設定した構成になっています。
変更する場合はここで再設定してください。

7 Windows NT のネットワーク設定について

本装置をネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。本装置を接続するネットワークの、ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。



・ネットワークの設定は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

お願い

● ネットワークの設定

- 1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 3 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする
次の画面が表示されます。



(表示例)

- 4 識別、サービス、プロトコル、アダプタ、バインドの設定を行う

詳細は『Windows のヘルプ』をご覧ください。

なお、出荷時のネットワークの構成は次のようになっています。

アダプタ : 2520 モデルの場合 Toshiba Fast Ether LAN Adapter
2010 モデルの場合 Intel 21143 based 10/100 mbps Ethernet Controller

プロトコル : NetBEUI

識別 : WORKGROUP

コンピュータ名 : 初期セットアップ時に入力した名前

プロトコル等を追加する場合「Windows NT セットアップ」というダイアログボックスが表示される場合があります。

この場合は、ダイアログボックスのファイル検索場所に「C:\¥i386」と表示されていることを確認して [OK] ボタンを押してください。



注意 ・TCP/IP プロトコルなどを追加した場合には、設定完了後、Windows NT Service Pack6 をインストールしてください。

☞ 「付録 3-2-Service Pack6 のインストールについて」

● 起動時のパスワードの入力

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ユーザー名と、パスワードを入力する
ここで表示されるダイアログボックスは、ネットワークの設定内容によって異なります（ネットワーククライアントの種類、ドメインサーバにログインするかどうかなど）。ここでは、次のダイアログボックスを例にあげていますが、他のダイアログボックスの場合もネットワーク管理者の指示に従い、入力してください。



・パスワードは、忘れないようにメモすることをおすすめします。

メモ

9 USB 機器の接続

本製品には、USB 規格の機器を取り付けることのできる、USB コネクタが用意されています。

USB 機器は、Windows 98 / 2000 でのみ使用できます。

Windows 95 / NT では付属のキーボード、マウス以外の USB 機器は使用できません。

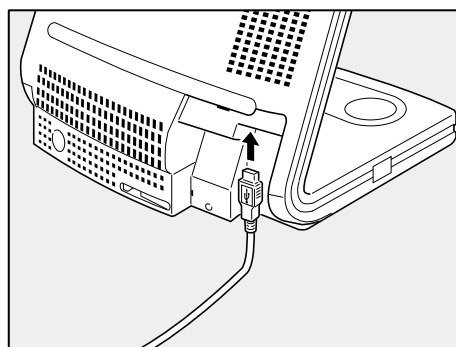
☞ キーボード、マウスの接続方法

☞ 「1 章 3-3 マウスの接続」、「1 章 3-4 キーボードの接続」

また、電源が入った状態でのコネクタの抜き差しはできません。

● 取り付け

- 1 背面のコネクタカバーを開く
- 2 USB ケーブルのプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む



- 3 USB ケーブルのもう一方のプラグを USB 機器に差し込む
手順 3 が必要ない機器もあります。



お願い

- ・ USB 対応の周辺機器を使用するには、システム、および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- ・ 今後出荷される USB 対応の周辺機器については、動作確認ができていないためすべての周辺機器の動作を保証することはできません。

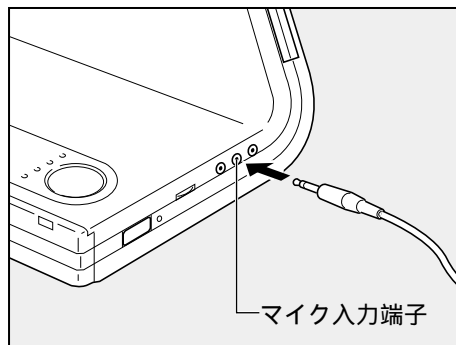
● 取りはずし

- 1 パソコン本体と USB 機器に差し込んである USB ケーブルを抜く
☞ USB 機器についての詳細 ☞ 『USB 機器に付属の説明書』

マイク（別売り）の接続

本製品では、マイク（別売り）を接続できます。使用可能なマイクは、インピーダンス 600 以上のコンデンサマイクロホンのミニジャックタイプ（3.5 mm）です。

- 1 「本章 1 周辺機器の取り付けについて」での事前の注意事項を確認する
- 2 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る
- 3 マイクのプラグを本体右側のマイク入力端子に差し込む
しっかりと奥まで差し込んでください。

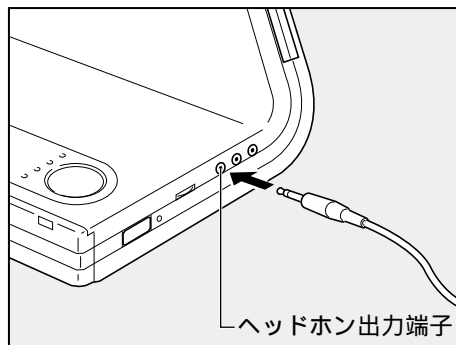


11

ヘッドホン（別売り）の接続

本製品では、ヘッドホン（別売り）を接続できます。使用可能なヘッドホンは、ミニジャックタイプ（3.5 mm）です。

- 1 「本章 1 周辺機器の取り付けについて」での事前の注意事項を確認する
- 2 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る
- 3 スピーカのプラグを本体右側のヘッドホン出力端子に差し込む
しっかりと奥まで差し込んでください。



4

システム構成とパスワードセキュリティ

本章では、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録／削除について説明します。

1	システム構成の設定	134
2	パスワードの設定	144



1

システム構成の設定

パソコン本体のシステム構成は、セットアッププログラムで設定します。

98 95

デバイスマネージャ、Toshiba Hardware Setup、Toshiba Power Extensions で行うことをおすすめします。

2000

デバイスマネージャ、HW セットアップ、Toshiba Power Extension で行うことをおすすめします。

NT

HW セットアップ、東芝パワーマネジメントシステムで行うことをおすすめします。

セットアッププログラムと Windows 上の設定が異なる場合、Windows 上の設定が優先されます。

ただし、パスワードのキーフロッピーディスクの作成、Windows 98 / 95 のスーパーバイザパスワードの設定は、セットアップシステムでしかできません。

* **2000** **NT** スーパーバイザパスワードの設定は「ス - パ - バイザパスワード設定ツール」で行います。

☞ スーパーバイザパスワードの設定方法 ☞ 「本章 2-2 スーパーバイザパスワード」

☞ キーフロッピーディスクの作成方法 ☞ 「本章 2-1-キーフロッピーディスクの作成手順」



メモ

- ・ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- ・セットアッププログラムで設定した内容は、内蔵バッテリーで保持するため、電源を切っても消えません。ただし、内蔵バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 セットアッププログラムを起動する方法



メモ

- ・スーパーバイザパスワードでユーザパスワードモードを「Unable to run SETUP」(**2000** **NT** HW セットアップの起動禁止) に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力した場合には、セットアッププログラムは起動しません。
 - ☞ ユーザパスワードモードについて
 - ☞ 「本章 2-2-ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」

MS-DOS 上から起動する

Windows 98 / 95 のみ使用できます。

Windows 2000 / NT の場合、MS-DOS 上からは起動できません。

1 [スタート] - [Windows の終了 (U)] - [MS-DOS モードで再起動する (M)] (**95** [MS-DOS モードでコンピュータを再起動する (M)]) を選択する

[スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト] からは起動できません。

2 **C** **D** **S** **p** **a** **c** **e** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

3 **U****S** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
英語モードに切り替わります。

4 **T****S****E****T****U****P** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

● **Esc** キーで起動する

1 **Esc** キーを押しながら電源を入れる
「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 **F1** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

② セットアッププログラムを終了する方法

変更した内容を反映させて終了します。

1 **End** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。

2 **Y** キーを押す
設定内容が反映され、セットアッププログラムが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

● セットアッププログラムを途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には行います。
この場合は変更した内容はまったく反映されません。設定値は変更前の状態のままです。

1 **Esc** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。

2 **Y** キーを押す
セットアッププログラムが終了します。

3 セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには次の2つの画面があります。

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

SYSTEM SETUP(1/2)		ACPI BIOS version = *.*.*	
MEMORY Total = 65536KB		BOOT PRIORITY Boot Priority = FDD→HDD→CD-ROM→LAN HDD Priority = Built-in HDD→Second HDD Power On Boot Select = Enable*	
PASSWORD Not Registered		OTHERS CPU Cache = Enabled Level 2 Cache = Enabled Processor Serial Number = Disabled* Auto Power On = Disabled System Beep = Enabled Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal)	
POWER SAVE Display Auto Off = 30Min. HDD Auto Off = 30Min. Cooling Method = Performance			
: Select items Space , BkSp : Change values PgDn , PgUp : Change pages Esc : Exit without saving Home : Set default values End : Save changes and Exit			

SYSTEM SETUP(2/2)		ACPI BIOS version = *.*.*	
CONFIGURATION Device Config. = All Devices		PC CARD Controller Mode = Auto-Selected	
I/O PORTS		DRIVES I/O Built-in HDD = Primary IDE(1F0H/IRQ14) Selectable Bay = Secondary IDE(170H/IRQ15)	
PCI BUS PCI BUS = IRQ11		FLOPPY DISK I/O Floppy Disk = (3F2H/IRQ6/CH2)	
: Select items Space , BkSp : Change values PgDn , PgUp : Change pages Esc : Exit without saving Home : Set default values End : Save changes and Exit			

* 2520 モデルの場合のみ表示されます。

☞ 設定項目の詳細について ⇨ 「本節 4 設定項目」

基本操作

基本操作は次のとおりです。

● 変更したい項目の選択方法

セットアップ画面中、反転している部分が現在変更できる項目です。
変更する項目に移動するには、、、、キーを使います。

● 項目の内容の変更方法

Space または BackSpace キーを押す
項目の内容が変わります。

● 画面を切り替える方法

PageDown または PageUp キーを押す
次の画面または前の画面に切り替わります。

● 設定内容を標準値にする方法

Home キーを押す
次にあげる項目以外は、設定内容が標準設定になります。

- ・ PASSWORD
- ・ Hard Disk Mode
- ・ Write Policy

4 設定項目

カーソルが移動しない項目は、参照のみで変更できません。
本項では、標準設定値を「標準値」と記述します。

MEMORY

メモリ容量を表示する

▼ Total

本体に取り付けられているメモリの総容量が表示されます。

PASSWORD

ユーザパスワードの登録 / 削除をする

☞ ユーザパスワードの登録 / 削除の方法 ☞ 「本章 3-1 ユーザパスワード」

▼ Not Registered

ユーザパスワードが設定されていないときに表示されます（標準値）。

▼ Registered

ユーザパスワードが設定されているときに表示されます。

POWER SAVE

▼ Display Auto Off（表示自動停止時間）

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合（マウスの操作も含む）にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。

画面に表示するには、**[Shift]** キーを押すか、マウスを移動させてください。

・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。



メモ

- ・ **98** **95** セットアッププログラムでの設定は無効です。
98 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]で設定してください。
95 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]で設定してください。

▼ HDD Auto Off（HDD 自動停止時間）

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。



メモ

- ・ ハードディスク装置を保護するため、Disabled は設定できません。
・ **98** **95** セットアッププログラムでの設定は無効です。
98 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]で設定してください。
95 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]で設定してください。

▼ Cooling Method (CPU 熱制御方式)

CPU の熱を下げる方式を選択します。

- ・ Performance CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU を冷やします。
- ・ Quiet CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が下がらない場合はファンを作動させます。



メモ

- ・ CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的に電源を切り、パソコンを故障から守ります。

BOOT PRIORITY

ブート優先順位を設定する

▼ Boot Priority

システムを起動するディスク装置の順番を設定します。

- ・ FDD HDD CD-ROM LAN (標準値)
 - ・ HDD FDD CD-ROM LAN
 - ・ FDD CD-ROM LAN HDD
 - ・ HDD CD-ROM LAN FDD
 - ・ CD-ROM LAN FDD HDD
 - ・ CD-ROM LAN HDD FDD
- 指定の装置順に起動する

通常は「FDD HDD CD-ROM LAN」に設定してください。



メモ

- ・ 電源を入れたときや再起動時に、次に示すキーを押し続けると、設定内容と違う装置から起動することができます。

- F** キー・・・フロッピーディスク装置から起動します。
- B** キー・・・パソコン本体のハードディスク装置から起動します。
- C** キー・・・CD-ROM 装置から起動します。

なお、これらの機能を使用しても設定は変更されません。

▼ HDD Priority

システムを起動するハードディスク装置の順番を設定します。

- ・ Built-in HDD Second HDD (標準値)
- ・ SecondHDD Built-in HDD

通常は「Built-in HDD Second HDD」に設定してください。

▼ Power On Boot Select

2520 モデルの場合のみ、表示されます。

電源を入れたときに起動する装置を選択する機能を使用するかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 使用可能にする
- ・ Disabled 禁止する

「Enabled」に設定した場合は電源を入ると「Press [F2] for the boot device selection menu」というメッセージが表示されます。[F2] キーを押して表示されるメニューから起動する装置を選択します。選択するキーは次のようになっています。

- [F] キー・・・フロッピーディスク装置から起動します。
- [B] キー・・・パソコン本体のハードディスク装置から起動します。
- [C] キー・・・CD-ROM 装置から起動します。
- [S] キー・・・セカンドハードディスク装置から起動します。
- [N] キー・・・内蔵 LAN から起動します。
- [D] キー・・・通常の設定された起動装置から起動します。

なお、これらのキーによって設定は変更されません。



メモ

- ・電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違う装置から起動することができます。

OTHERS

その他の設定をする

▼ CPU Cache (キャッシュ)

CPU 内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Disabled キャッシュメモリを使用しない
- ・ Enabled (標準値) キャッシュメモリを使用する

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。

次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

- ・ Write-back (標準値) .. 書き込み方式を「Write-back」に設定する
キャッシュメモリにデータを書き込み、キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。
- ・ Write-through 書き込み方式を「Write-through」に設定する
キャッシュメモリとメインメモリに、同時にデータを書き込みます。

▼ Level 2 Cache

2 次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。

「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

- ・ Enabled (標準値) 2 次キャッシュを使用する
- ・ Disabled 2 次キャッシュを使用しない

▼ Processor Serial Number

2520 モデルの場合のみ、表示されます。

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

スーパーバイザパスワードでユーザパスワードを「Unable to show Processor Serial Number Item」に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力した場合は、この項目は表示しません。

- ・ Disabled (標準値)..... 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

▼ Auto Power On (タイマ・オン機能)



メモ

・ タイマ・オン機能は 1 回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

・ スタンバイ () / サスペンド () 状態からのタイマ・オンはできません。

タイマ・オン機能の設定状態を示します。

- ・ Disabled (標準値)..... タイマ・オン機能が設定されていない
- ・ Enabled タイマ・オン機能が設定されている

タイマ・オン機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は または キーで行います。時と分、月と日の切り替えは キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled 月日を設定しない

● Wake up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。

- ・ Enabled Wake up on LAN 機能を使用する
- ・ Disabled Wake up on LAN 機能を使用しない



メモ

・ Wake up on LAN 機能は電源コードが接続されていないと動作しません。

また、電源を切った後、電源コードを抜き、再度接続した場合も動作しません。

▼ System Beep

システムビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値)..... システムビープ音を鳴らす
- ・ Disabled システムビープ音を鳴らさない

▼ Hard Disk Mode

ハードディスクのモードを設定します。

項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行なってください。

- ・ Enhanced IDE(Normal)(標準値)
..... 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE Enhanced IDE に対応していない OS を使用する
場合に選択する
この場合、528MB までが使用可能となり、残りの容
量は使用できません。

CONFIGURATION

▼ Device Config (デバイス・コンフィグ)

ブート時に BIOS が初期化する装置を指定する

- ・ Setup by OS OS をロードするのに必要な装置のみ初期化する
それ以外の装置は OS が初期化します。この場合、「I/O
PORTS」内の装置の設定は「Setup by OS」固定と
なり、変更できません。
- ・ All Devices (標準値). すべての装置を初期化する



メモ

- ・ Windows 98 / 95 の場合、「Setup by OS」の設定は、[スタート]-[設定]-[コント
ロールパネル]-[Toshiba Hardware Setup]-[Device Config] タブの [Setup by
OS] に相当します。
- ・ Windows 98 / 95 の場合、「All Devices」の設定は、[スタート]-[設定]-[コント
ロールパネル]-[Toshiba Hardware Setup]-[Device Config] タブの [Setup by
OS] に相当します。

I/O PORTS (I/O ポート)

モデム内蔵モデルのみ表示します。

本機種はモデムを内蔵していないため、表示されません。

PCI BUS

PCIバスの割り込みレベルを表示する

PCIバスの割り込みレベルを表示します。

変更はできません。

PC CARD**PC カードのモードを選択する****▼ Controller Mode**

PC カードのモードを選択します。

- ・ Auto-Selected(標準値)
 Windows 98 / 95 / 2000 などの、Plug & Play に対応した OS を使用している場合、および Windows NT で CardWizard-Plus for Windows NT を使用している場合に選択します。
- ・ Card Bus/16-bit Windows NT (Ver.4 以下、または CardWizard-Plus for Windows NT を使用していない場合) を使用しているとき、または、Auto-Selected で正常に動作しない Card Bus 対応の PC カードを使用する場合に選択します。
- ・ PCIC Compatible Windows NT (Ver.4 以下、または CardWizard-Plus for Windows NT を使用していない場合) を使用しているとき、または、Auto-Selected や CardBus/16 bit で正常に動作しない 16 bit PC カードを使用する場合に選択します。

DRIVES I/O**HDD や CD-ROM の設定**

ハードディスク装置と CD-ROM 装置のアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

FLOPPY DISK I/O

フロッピーディスク装置のアドレス、割り込みレベル、チャンネルの設定を表示します。変更はできません。

2

パスワードの設定

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイ（サスペンド）状態やハイバネーション状態から復帰するときにパスワードの入力を要求するパスワードセキュリティ機能を設定することができます。

パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードの2種類があります。スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムのシステム構成を変更できないよう、制限を加えることができます。

この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。



メモ

・ **2000 NT** スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。

☞ 詳細について

☞ アプリケーション CD 内の Common¥Softwares¥SVPWTool¥README.HTM

- ・ パスワードは、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードでは、違うものを使用してください。
- ・ パスワードを登録 / 削除した後、電源を切る前にリセットスイッチを押すと、設定した内容が無効になります。

パスワードとして使用できる文字

パスワードとして使用できる文字は次のとおりです。これ以外の文字をパスワードに使用することはできません。パスワードを設定する前に、確認してから入力してください。

使用できる文字		使用できる文字の一覧
アルファベット	A ~ Z (半角)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
数字	0 ~ 9 (半角)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号	単独のキーで入力できるものの一部	- ^ @ [; :] , . / (スペース)



お願い

・ 次の文字はパスワードには使用できません。

全角文字

日本語入力システムの起動が必要な文字

例：漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号など

単独のキーで入力できない文字

例：| (バーチカルライン)、& (アンド)、(チルダ) など

¥ (エン)

キーや を押すと ¥ が入力されます。


1 ユーザパスワード

● ユーザパスワードの登録












ユーザパスワードの登録をすると、パスワード解除用フロッピーディスク（キーフロッピーディスク）を作成することができます。




キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DD または2HD（1.44MB）フロッピーディスクが必要です。また、セクタブルベイにフロッピーディスク装置が内蔵されていないモデルの場合は、FDD 接続コネクタ用フロッピーディスク装置またはセクタブルベイ用フロッピーディスク装置をご購入ください。








* [Esc] キーでセットアッププログラムを起動した場合は、手順5から実行してください。



- 1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)]( 95 [MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)]) を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からは起動できません。

- 2           と半角英数字で入力し、 キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET」になります。

- 3   と半角英数字で入力し、 キーを押す
英語モードに切り替わります。

- 4       と半角英数字で入力し、 キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

- 5 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、 または  キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。


パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。

☞ パスワードの削除方法 ☞ 「本節 1- ユーザパスワードの削除」

- 6 ユーザパスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力します。入力すると1文字ごとに*が表示されます。


☞ 入力できる文字 ☞ 「本節 パスワードとして使用できる文字」

- 7  キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

- 8 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順6と同じパスワードを入力してください。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

- 9  キーを押す

ユーザパスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順6からやり直してください。

- 10** パスワードの設定が終了したら、**End** キーを押す
次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)
Insert password service disk if necessary

- 11** キーフロッピーディスクを作成する
次の「キーフロッピーディスクの作成手順」に従って操作してください。
セットアップの内容が正しければ、**Y** キーを押します。**N** キーを押すと、セットアップ画面に戻ります。

● キーフロッピーディスクの作成手順

ユーザパスワードを忘れた場合に使用する、キーフロッピーディスクを作成します。
キーフロッピーディスクが必要ない場合は、フロッピーディスクをセットしないで、**Y** キーを押してください。そのまま終了します。

☞ キーフロッピーディスクの使い方

⇒ 「本節 1- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

フォーマット済みの2DDまたは2HD (1.44MB) フロッピーディスクをセットする

! 注意 ・壊されては困るデータの入っているフロッピーディスクは使用しないでください。
データが消失します。

Y キーを押す
次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

セットされているフロッピーディスクが2HDの場合は**1** キーを、2DDの場合は**2** キーを押す
フロッピーディスクへの書き込みを開始します (フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します)。
フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

● ユーザパスワードの削除

- 1** ユーザパスワードの入力画面を表示する
☞ 入力画面の表示方法 ⇒ 「本節 1- ユーザパスワードの登録」
- 2** 登録してあるユーザパスワードを入力する
入力すると1文字ごとに*が表示されます。

3 **Enter** キーを押す

ユーザパスワードが削除されます。

入力したユーザパスワードが登録したユーザパスワードと異なる場合は、ビープ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順 2 からやり直してください。



メモ

・入力エラーが 3 回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合には、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

● ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの 2DD または 2HD (1.44MB) フロッピーディスクが必要です。また、セクタブルベイにフロッピーディスク装置が内蔵されていないモデルの場合は、FDD 接続用フロッピーディスク装置またはセクタブルベイ用フロッピーディスク装置をご購入ください。



メモ

・キーフロッピーディスクは、スタンバイ/サスペンド/ハイバネーション機能実行時には使用できません。スタンバイ/サスペンド/ハイバネーション機能実行時に、パスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットして、**Enter** キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

ユーザパスワードを再設定する場合は、**Y** キーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本節 1- ユーザパスワードの登録」の手順 6 以降を行なってください。再設定後、システムが再起動します。

ユーザパスワードを再設定しない場合は、**N** キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

● ユーザパスワードの変更

ユーザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞ 「本節 1- ユーザパスワードの削除」、「本節 1- ユーザパスワードの登録」

② スーパーバイザパスワード



メモ

・2000 NT スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定
します。

☞ 詳細について

☞ アプリケーション CD 内の Common¥Softwares¥SVPWTool¥README.HTM

・スーパーバイザパスワードのキーフロッピーディスクは作成できません。

● スーパーバイザパスワードの登録

1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)](**95** [MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)]) を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

2 と半角英数字で入力し、 キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

3 と半角英数字で入力し、 キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
Do you want to register the supervisor password < Y/N > ?
```

4 キーを押す

スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。 キーを押すと、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password - - - >
```

5 スーパーバイザパスワードを入力する

スーパーバイザパスワードは半角 10 文字以内まで入力できます。入力すると、1 文字ごとに*が表示されます。

☞ 入力できる文字 ☞ 「本節 - パスワードとして使用できる文字」

```
Enter Password - - - > * * * * *
```

6 キーを押す

パスワードを再度入力する画面が表示されます。

```
Verify Password - - - >
```


- 7** 再度同じパスワードを入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。スーパーバイザパスワードが登録されました。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

2 回目に入力したパスワードが、1 回目に入力したパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y** キーを押し、手順 5 からやり直してください。**N** キーを押すと、登録を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

- 8** ユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更する

続けてユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更できます。ご購入時は「USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP」(ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない)に設定されています。設定を変更する場合は**Y** キーを押します。画面が「ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」の手順 4 の画面に変わりますので、手順 4 以降をご覧ください。

設定を変更しない場合は**N** キーを押し、電源スイッチを押して電源を切ってください。電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、登録したパスワードは無効となります。

スーパーバイザパスワードの削除



・スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方が登録されている場合は、セットアップシステム起動時のパスワードはスーパーバイザパスワードを入力してください。

- 1** [スタート]-[Windows の終了(U)]-[MS-DOS モードで再起動する(M)](**95**[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト]からも起動できます。

- 2** **C****D****Space****¥****T****O****S****S****E****T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3** **S****V****P****W** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
Do you want to delete the supervisor password < Y/N > ?
```

4 **Y** キーを押す

スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。**N** キーを押すと、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password - - - >
```

5 登録されているスーパーバイザパスワードを入力する

```
Enter Password - - - > * * * * *
```

6 **Enter** キーを押す

入力したパスワードが正しい場合は、次の画面が表示され、登録されていたパスワードが削除されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
```

入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !  
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y** キーを押し、手順5からやり直してください。**N** キーを押すと、削除を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

入力エラーが3回続くと「Password access denied！」が表示され、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。この場合は、電源スイッチでいったんパソコン本体の電源を切り、再度電源を入れ直してから同じ手順で削除の設定を行なってください。リセットスイッチなどで再起動しても、削除の設定を行うことはできません。

7 電源スイッチを押して、電源を切る

電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、パスワードの削除は無効となります。

● スーパーバイザパスワードの変更

スーパーバイザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞ 「本節 2-スーパーバイザパスワードの削除」


「本節 2-スーパーバイザパスワードの登録」

● ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除

スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合は、ユーザパスワードからパソコン本体を起動したとき、次のような制限事項を設定することができます。

セットアッププログラムへのアクセスを禁止する

セットアッププログラムの「Professor Serial Number」を表示しない

- 1** [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)]( **F9** [MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)]) を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

- 2** **C** **D** **Space** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3** **S** **V** **P** **W** / **U** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
USER PASSWORD MODE = Unable to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

- 4** **Y** キーを押す

スーパーバイザパスワードを入力する画面が表示されます。

```
Supervisor password =
```

スーパーバイザパスワードが登録されていない場合は、「Unable to change user password mode because supervisor password is not registered. (スーパーバイザパスワードが登録されていないので、ユーザパスワードモードの制限事項を設定することはできません)」というメッセージが表示されます。

- 5** スーパーバイザパスワードを入力し、**Enter** キーを押す

現在の設定が表示され、選択項目が表示されます。

```
USER PASSWORD MODE = Unable to run SETUP
1. Able to run SETUP
2. Unable to run SETUP
3. Unable to show Processor Serial Number item.
Select number < 1/2/3 > ?
```

1. Able to run SETUP

ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできる

2. Unable to run SETUP

ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない

3. Unable to show Processor Serial Number item.

ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできるが、「OTHERS」の「Processor Serial Number」は表示されない

- 6** 制限事項を選び、**1**、**2**、**3** キーのどれかを押す

選んだキーの制限事項が表示されます。

【例】1を選んだ場合

```
USER PASSWORD MODE = Able to run SETUP
```

7 電源スイッチを押して、電源を切る

電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、制限事項の設定や変更は無効となります。

3 パスワードの入力



パスワードが設定されている場合、電源を入れると次のようになります。

「Password=_ 」と表示される


画面が消えた状態になる(スタンバイ/サスペンド/ハイバネーション機能とタイム・オン機能が設定されているとき)

この場合は、次のようにするとパソコン本体が起動します。

1 設定したとおりにパスワードを入力し、**Enter** キーを押す

Scroll Lock  LED、Num Lock  LED は、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。

ユーザパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

 キーフロッピーディスクの使い方

⇒ 「本節 1- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」



メモ

・パスワードの入力ミスが 3 回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

● 起動時にユーザパスワードを入力した場合

スタンバイ/サスペンド/ハイバネーション機能を有効にして電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはユーザパスワードを入力してください。スーパーバイザパスワードでも起動できますが、ユーザパスワードから起動したときに受ける制限事項を設定している場合、同じように機能を制限されます。

● 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

スタンバイ/サスペンド/ハイバネーション機能を有効にして電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはスーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。